

# 公益財団法人健康・体力づくり事業財団 令和6年度 健康運動指導研究助成募集要項

## 1. 目的

健康寿命の延伸をめざす我が国において、運動やスポーツへの関心が高まり、質の高い運動指導が求められています。本研究助成は、健康運動指導士、健康運動実践指導者の自由な発想に基づく運動指導における実践研究や、地域・職域における健康・体力づくり、課題解決のための調査研究等を支援することにより、運動指導の充実・強化とともに運動指導者の資質向上を図り、国民の健康・体力づくりに寄与することを目的とします。

## 2. 研究区分及び応募資格

研究区分等は以下のとおりです。

※同時に複数の研究区分には応募できません。

※前年度（令和5年度）に本研究助成金の交付を受けた方は応募できません。

### （1）実践研究

- ア．運動指導活動における事例をもとに得た経験や知識の具体的成果報告、自らが考案・工夫した運動プログラム・指導方法等に係る効果検証等の具体的成果報告
- イ．運動指導活動における検証、課題解決、人材育成、新たな指導法等のための研究
- ウ．多くの健康運動指導士・健康運動実践指導者が活用できる運動プログラム教材や運動器具などを作成するための研究

【応募資格】健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者

※この区分は、大学・研究機関において研究活動を主な業務とされている方より指導活動を主な業務とされている方を優先します。

### （2）調査研究

我が国の健康・体力づくりに貢献できる、地域・職域における健康・体力づくり推進、新たな指導のあり方等のための研究

【応募資格】健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者

注：実践研究及び調査研究の応募資格については、研究採択時（令和6年4月）から研究報告時（令和7年5月）まで健康運動指導士・健康運動実践指導者の登録がある方が対象です。当該期間に更新する方も含みます。

### (3) 指定研究

以下の内容に該当する研究

① 健康運動指導士・健康運動実践指導者の活躍とキャリア形成に関する研究

キーワード：健康運動指導士・健康運動実践指導者、資格活用、  
地域連携、キャリア形成

② 高齢労働者の健康づくりと安全確保に関する研究

キーワード：高齢労働者、身体活動促進、転倒防止、怪我予防、  
リスク管理、健康経営

③ 多職種連携による地域住民の健康づくり運動に関する研究

キーワード：多職種連携、健康増進、運動指導、行動変容、地域資源開発

**【応募資格】** 以下に所属する研究者

「学校教育法に基づく大学及び同附属試験研究機関」、「国の施設等機関」、「地方公共団体の附属試験研究機関」、「研究を主な事業目的としている公益社団法人、公益財団法人、一般社団法人及び一般財団法人」、「研究を主な事業目的とする独立行政法人通則法（平成 11 年法律第 103 号）第 2 条の規定に基づき設立された独立行政法人」

※共同研究者又は研究協力者は、健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有していることが望ましい。

### 3. 研究期間

令和 6 年 5 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日

### 4. 助成金額

総額 1, 300 万円以内

- |          |         |           |        |
|----------|---------|-----------|--------|
| (1) 実践研究 | 1 研究につき | 50 万円を上限  | 15 件以内 |
| (2) 調査研究 | 1 研究につき | 100 万円を上限 | 5 件以内  |
| (3) 指定研究 | 1 研究につき | 250 万円を上限 | 3 件以内  |

※応募状況等により配分金額を調整します。

※助成金は上記の範囲内で千円単位（千円未満切り捨て）で交付・精算します。

### 5. 助成対象経費

研究に直接必要な以下の経費とします。

諸謝金、アルバイト代、旅費、使用料及び賃借料、印刷製本費、資料購入費、消耗品費、測定器材費、通信運搬費、雑役務費、会議費、保険料

※対象となる項目等詳細は「令和 6 年度 健康運動指導研究助成の手引き」をご参照ください。

※所属機関の間接経費／一般管理費（オーバーヘッド）は対象となりません。

※クレジットカード決済・キャッシュレス決済での支払いは対象となりません。

## 6. 応募方法

応募はメールにて受付けます。当財団ホームページより申請書様式等を、ダウンロードし、作成してください。

作成した『申請書』、『研究計画』、『総経費及び対象経費支出予定内訳』の3点のデータをメールに添付して提出してください。

詳細は「令和6年度健康運動指導研究助成の手引き」を参照してください。

なお、応募にあたっては、当財団ホームページに掲載している「研究倫理について」をご確認のうえ、日本学術振興会の研究倫理に関する「eラーニングコース」等を受講（無料）することを推奨します。

### 【申請書ダウンロード】

<https://www.health-net.or.jp/tyousa/josei/index.html>

### 【申請書類提出先】

[josei@health-net.or.jp](mailto:josei@health-net.or.jp)

- ・メールの件名は『令和6年度研究助成応募』としてください。
- ・書類受理後、メールで申請書類受理通知をお送りします。応募から1週間経過しても通知メールが届かない場合には、事務局までご連絡ください。

## 7. 申請書受付期間

令和5年12月1日（金）～令和6年1月12日（金）17:00まで

## 8. 選考方法・評価の視点

外部有識者で構成する選考委員会において選考します。

### 【評価の視点】

#### （1）実践研究

- ・健康運動指導士・健康運動実践指導者の資質向上や人材活用が期待できるか。
- ・実践現場で活用できる具体的な成果（運動プログラム、ツール、ガイドブック、ビデオ等）になっているか。

#### （2）調査研究

- ・研究者個人や研究者の所属する団体に留まらず広く波及効果が期待できる研究であり、健康運動指導士・健康運動実践指導者の資質向上や人材活用が期待できるか。
- ・複数団体（大学・研究所、医療機関、健康増進施設、自治体、民間企業等）による共同研究として実施されているか。
- ・地域や健康増進施設等における事業や施策に活かせるか。

### (3) 指定研究

- ① 健康運動指導士・健康運動実践指導者の活躍とキャリア形成に関する研究
  - ・ 2-(3)-①のキーワードのいずれかを含んだ内容になっているか。
  - ・ 健康運動指導士・健康運動実践指導者の資格を活かすことができる内容になっているか。
  - ・ 波及効果が期待できるか。
- ② 高齢労働者の健康づくりと安全確保に関する研究
  - ・ 2-(3)-②のキーワードのいずれかを含んだ内容になっているか。
  - ・ 高齢労働者の健康づくりや転倒防止策等について、身体活動・運動(量)との関連が示されているか。
  - ・ 波及効果が期待できるか。
- ③ 多職種連携による地域住民の健康づくり運動に関する研究
  - ・ 2-(3)-③のキーワードのいずれかを含んだ内容になっているか。
  - ・ 健康運動指導士・健康運動実践指導者が、行政や医療職等と連携した取組を行っているか。
  - ・ 波及効果が期待できるか。

## 9. 選考結果の通知

令和6年4月初旬に郵送にて通知します。

(なお、採否に関するお問合せには回答いたしかねますので、ご了承ください。)

## 10. 研究報告

研究終了後、別紙に定める完了報告書(成果報告・実績報告・支出済内訳)を提出していただきます。(詳細は「令和6年度健康運動指導研究助成の手引き」をご参照ください。)

また、当財団ホームページと広報誌「健康づくり」で研究成果を公表するとともに、全ての研究成果を報告書として作成し、関係団体に配付します。

### 11. 贈呈式への出席及び研究報告会での報告(予定)

採択決定後には、令和6年5月下旬頃に当財団が開催する贈呈式に出席していただきます。

また、研究終了後には、令和7年5月下旬頃に開催する研究報告会において、研究成果を報告していただきます。

※贈呈式及び研究成果報告会には、選考委員及び研究採択者・研究報告者等が参加します。

※贈呈式及び研究代表者の研究成果報告会への出席旅費は、別途、当財団が負担します。

## 12. その他

- (1) 経費支出に係る領収書等の証拠書類は、研究終了後5年間、保管してください。なお、雑役務費に係る委託契約・請負契約については、事前に作業内容を明確にし、業者に見積書（委託額の数量・単価等の明細がわかるもの）を取得するようにしてください。確認のため、作業内容の書類や見積書の提出をお願いする場合があります。※作業内容の書類(例)は対象経費支出予定内訳に明示。作業内容の書類は例示したものでなくても構いません。
- (2) 他の助成を受けている研究、あるいは受けることが決定した研究は助成対象となりません。
- (3) 研究代表者の「氏名」「所属」「研究課題」「助成額」「研究内容」については、当財団ホームページ等の広報媒体に掲載し、広報資料に使用させていただくことがあります。

(参考) 令和5年度の研究課題一覧

■ 実践研究

地域在宅高齢者の転倒予防・歩行能力に対する低強度ご当地体操の有効性 ～足趾把持筋力に着目して～
健康づくり運動に関わる資格取得・就職意識を高める教育プログラム
スクワット動作に関する効果的な実践方法の検証
心血管疾患患者に対するウェアラブルデバイスを用いた運動指導と運動耐容能への効果
地域高齢者サロン参加者におけるケーブルテレビ放送を活用した神楽エクササイズの実態とその効果の検証
健康管理アプリを活用したリモート運動促進プログラム実践指導方法の工夫と健康経営企業への適用
メディカルフィットネス利用者における身体組成、身体機能およびロコモ度テストの変化とその特徴
行政主体の高齢者オンライン運動教室の実施におけるデジタルデバイドの実態とその攻略法の探求
えひめ de ひめトレ！リズムにのっていきいき中高年！ ～健康運動指導士3姉妹の実践的チャレンジ！～
集団で行う低負荷・高速度の可変負荷トレーニングが高齢者の筋パワー、足趾保持筋力に及ぼす影響

■ 調査研究

スポーツ健康部門従事者のデジタルスキル現状調査と教育プログラムの検討
高齢の介護予防ボランティアによる体操普及活動がフレイル化の抑制に及ぼす効果
ロコモティブシンドローム患者の筋力とバランス能力に基づく病型分類に関する観察調査

■ 指定研究

高齢者における温泉入浴と運動の習慣が循環器系および神経筋系へ及ぼす影響
運動・身体活動促進のための効果的な行政施策の探索 ：ポピュレーションアプローチにおける効果の最適化に向けて